

生活

くまもととニュースあらかると

シルバー作品展の作品を募集中
さわやか長寿財団

（財）熊本さわやか長寿財団（熊本市南千反畑町）は、第23回熊本県シルバー作品展の作品を募集しています。中高年の生きがいづくりを目的に開いているもので、出展者は県内在住で60歳以上のアマチュア。出品部門は日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸の6部門で、1人1点、出品料は500円。それぞれ部門ごとに大きさや素材などの規定があります。

申し込み期限は6月30日です。この機会にあなたの作品を発表してみませんか？作品展は9月6日（火）から11日（日）まで、同市千葉城町の熊本県立美術館分館で開催します。

TEL 354-33083

▲力作が並ぶ作品展（写真は09年の模様）

現役医師の緊急レポート
「ガンに克つ！ 驚異のプロポリス療法」

もし、あなたやあなたの大切なご家族ご友人がガンの宣告を受けた時、あなたならどうしますか？どのような治療を希望されますか？

現在、日本ではガンで毎年約30万人の方が亡くなられており、その数は今も増加傾向にあります。しかし、西洋医学によるガン治療には、副作用や患者の心のケアの問題を含め、まだまだ多くの課題が残されているのも事実。

よりよく、より長く、人が人としての尊厳を保ちながら生きるために何が出来るのか。西洋医学の欠点と限界を補う治療法はないのか。

「ガンに克つ！ 驚異のプロポリス療法」
試行錯誤を重ねた一人の医師が、抗ガン剤では効果が期待しにくい固形ガンに対して、高い抗ガン作用を示す「プロポリス」に着目。学会でも発表されたその優れた効果を1冊のレポートにまとめました。今回は限定50冊を無料進呈。お申込みはお早めに。

■お申込みは電話ハガキにて
〒1860004 東京都国立市中1-10-8
NPO法人セルフケア情報研究センター「F417」係
TEL 042-574-3732
受付8時～20時 月～土
http://www.self-care.jp/

「愛してる」の言葉は、何かの操作のために使うのではなく、心から湧き出してくる感情だから強くなる、勇気が出る魔法の言葉になると思います。

少し照れくさいのですが、「母の日」「父の日」が続くこのシーズン、いい機会だと思つて、子どもに、「愛してる」を伝えてみませんか。

「愛してる」の言葉は、何かの操作のために使うのではなく、心から湧き出してくる感情だから強くなる、勇気が出る魔法の言葉になると思います。

伝統技法で「熊本発」のブランド目指す
「AOZORA」シューズ



▲「AOZORA」を立ち上げたつちやゴムのフットウェア事業部。左からデザイナーの境賢悟さん、デザイナー兼パタンナーの堀康浩さん、同主任の宇野佑さん。靴には若い2人の感性が生かされ、カラフルなものや水玉、ボーダーなどの柄もある

「伝統の技法で「AOZORA」を熊本発信のシューズブランドにした」。オリジナルの靴のブランド「AOZORA」を立ち上げたのは、つちやゴム（嘉島町井寺）フットウェア事業部デザイナー兼パタンナーの宇野佑さん（28）と堀康浩さん（26）。

コンセプトは「青空の日に外に出かけたくなるような靴」。当初、青空市のように外で販売し、たくさんの人に試して履きしてほしいという思いからAOZORAと名付けた。

同社は、他社ブランドの製品を製造するOEMが主流で、ミキハウス社などの靴を1日に平均400足生産している。しかし、崇城大学芸術学部でデザインを学んだ2人は、入社当初から独自のブランドを立ち上げたいと09年5月に製品化へ動き出し、10月から販売を開始した。また、靴作りに携わって40年のデザイナーの境賢悟さんが2人に技術面の指導を行う。

現場で生産に携わるのは、靴を作り続けて40年の約30人の職人。希少価値が高くスニーカーの原点とも言える「バルカナイズ製法」で作っている。

現在、メガネのナカハラ本店（熊本市室園町）やPURELY（熊本市中唐人町など3店舗）で取り扱っており、贈答品としても人気でリピーターも多い。価格はベビー約3500円、レディース約8千円、メンズ約9千円。季節ごとに約15種類販売している。

「量産化など課題はあるが、AOZORAを通して伝統技法を継承し、人を笑顔にする靴を作っていきたい」。宇野さんたちの挑戦は、まだ始まったばかりだ。



▲生ゴムに硫黄を混ぜ、釜で130度の熱と圧力を加えゴム底と靴本体を同時に接着・成型することで、適度な弾性と強度を生む。このバルカナイズ製法は国内で4社しか行っていない



▶十数個もの細かいパーツを組み合わせて甲のパーツを縫製していく。手作業が多いため靴に味が出る



▶甲のパーツを靴型に合わせて手作業で結合させる。靴の表情を決める大事な作業となる

親子のコミュニケーション講座
子どもを生み、自立した大人への育成とは(46回)

二人の人間を生み、養い、社会の中で自立した一人になるまで育てる。これが親の役割です。親は子どもの成長に大きな責任があります。そのために必要なものがコミュニケーション能力です。ここでは親と子のコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。



親業訓練インストラクター 津川 育子

「愛してるの響き」
そう思います。

ただ、時に人は「愛してる」という言葉をいい訳に使ってしまいます。「愛してる」という言葉を免罪符に、子どもの嫉妬という言う名の下の、暴力をふるっても、暴力の中で愛を語られた子どもが、自分の命、他人の命を大切に思えるでしょうか。

「愛してる」の言葉は、何かの操作のために使うのではなく、心から湧き出してくる感情だから強くなる、勇気が出る魔法の言葉になると思います。

少し照れくさいのですが、「母の日」「父の日」が続くこのシーズン、いい機会だと思つて、子どもに、「愛してる」を伝えてみませんか。

「女性の為のキラキラ研修」を開催します。講師は私、津川が務めます。本研修は、自分のワークライフバランスを見つめることで、仕事への情熱を確認し、プライベートの充実を手に入れる研修です。キラキラと輝くお手伝いをします。

日程：6月4日(日)午後1時から5時
場所：熊本流通情報会館
お申し込み・お問い合わせ
Tel：0963-342-9733
Mail：tsugawa@jinzai-ikusei.jp

【問い合わせ】
☎096-342-9733
ikuko.t@eagle.ocn.ne.jp